

協会のあゆみと運動の成果

1947(昭和22)年4月	私立福島県二本松ろうあ学校卒業生が中心となり「福島県ローアクラブ」を設立 初代会長 門脇 正
1948(昭和23)年4月	福島県立聾学校卒業生が中心となり「福島県聾唖福祉協会」を設立 初代会長 佐藤敬二郎
1958(昭和33)年8月	福島県身体障害者福祉会事務局長と東北ろうあ連盟役員の仲介により、両団体を統合し「福島県聾唖協会」となる。
1962(昭和37)年10月	第1回福島県ろうあ者福祉大会を福島市で開く。以後4年に1度県内各市の廻り持ちで開催。
1968(昭和43)年6月	第17回全国ろうあ者大会を福島市で開く。併せて第1回全国手話通訳者会議、第2回全国ろうあ青年研究討論会実施。
1971(昭和46)年5月	県内初の手話サークル「やまびこ会」(福島市)発足。以後、各地域に手話サークルが誕生する。
1973(昭和48)年8月	「道交法88条」の改正により、警察庁通達で聴覚障害者が自動車運転免許を取得出来るようになった。(ただし条件付き)
1976(昭和51)年4月	ろう学校や個人宅、民間アパート等を転々していた事務局を県総合社会福祉センターに設置し、専従職員1名を採用
1977(昭和52)年8月	第10回手話通訳問題全国集会を福島市で開催。1,000名参加
1980(昭和55)年6月	私達の長い運動の結果、ろう者を事実上の準禁治産者とみなした「民法11条」が改正された。
1984(昭和59)年6月1～3日	第33回全国ろうあ者大会を福島市で開催。新企画として「専門家懇談会」「美術展」を開く。2,200名が参加
1985(昭和60)年8月	手話通訳制度への理解を求めたアイラブパンフレット全国普及運動を展開して、120万部普及を達成。本会は全国上位の目標達成率。
1992(平成4)年6月	福島県知事より認可を受け「社団法人福島県聴覚障害者協会」となる。
1995(平成7)年10月28～29日	第31回全国身体障害者スポーツ大会手話コンパニオン632名を養成。
1998(平成10)年12月	差別法令撤廃100万人署名運動と「情報提供施設」建設に向けての署名運動スタート46,139人分を県議会へ提出、趣旨採択となる
1999(平成11)年5月	『みんなの歩み 半世紀』発行。
2000(平成12)年2月	県内各地でアイ・ラブ・ユー上映会実施
2001(平成13)年3月	二本松聾学校跡記念碑除幕式
2002(平成14)年2月	第18回全国手話通訳問題研究討論集を福島市で開催。866名参加。
2003(平成15)年8月	第15回ろう教育を考える全国討論集を郡山市で開催。966名参加。
2004(平成16)年8月	聴覚障害者情報提供施設建設の理解を広く県民に求めるため、県内6ヶ所で「手話まつり」を一斉開催。
2005(平成17)年4月	福島県聴覚障害者「自立支援法案」対策本部を6団体で発足。
2006(平成18)年10月	手話通訳派遣事業実施市町村は16ヶ所に増える。
2008(平成20)年5月	創立50周年記念祝賀会
2009(平成21)年9月	第43回全国ろうあ者体育大会を福島市、郡山市で開催。1352名参加。
2010(平成22)年8月	「WeLove」コミュニケーションパンフの全国普及運動。情報・コミュニケーションは社会参加権利！障害者権利条約に基づく国内法の整備、新法制をめざす街頭署名運動。
2011(平成23)年3月11日	東日本大震災 マグニチュード9.0
2011(平成23)年4月16日	東日本大震災聴覚障害者福島県本部の組織を確認。
2013(平成25)年4月1日	県から「聴覚障がい者情報支援等業務に関する事業」を協会に委託名称は福島県聴覚障害者情報支援センターに決定し、開所。
2014(平成26)年5月	福島県知事より認可を受け「一般社団法人福島県聴覚障害者協会」となる。「情報支援センター開所&一般社団法人設立」記念祝賀会。
2014(平成26)年8月	第47回全国手話通訳問題研究会inふくしまを郡山市で開催。1306名参加
2014(平成26)年12月	手話言語法を制定することの意見書運動 1県59市町村が採択されました。
2016(平成28)年1月	福島県ろうあ運動ニュース500号発行。
2016(平成28)年9月16～17日	第50回全国ろうあ者体育大会 東北分散大会が開催される。福島県ではボウリング競技(郡山市)バレーボール競技(福島市)を実施。
2016(平成28)年12月21日	「聾学校校名変更への反対運動」を行うが、「聴覚支援学校」に変更する条例改正案が可決。
2017(平成29)年5月1日	『福島県ろうあ運動ニュース500号記念誌～板橋正邦が残した運動論～』発行。
2018(平成30)年4月1日	福島県知事記者会見が手話通訳映像が配信。
2018(平成30)年12月19日	全国25番目「福島県手話言語条例」および「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」が成立。翌年4月1日より施行。
2019(令和元)年5月26日	創立60周年記念及び福島県手話言語条例制定祝賀会。
2019(令和元)年10月6日	令和元年東日本台風対応。
2020(令和2)年4月11日	新型コロナウイルス感染症患者発生にかかる福島県記者会見のリアルタイム字幕試験配信実施。
2020(令和2)年6月16日	福島県議会のインターネット中継に手話通訳が導入される。
2021(令和3)年2月13日	福島県沖地震発生(M7.3)対応。
2021(令和3)年3月7日	『手話を拓める運動』DVD発行。
2021(令和3)年3月28日	全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」上映会実施。222名
2022(令和4)年1月11日	福島県知事記者会見の手話通訳リアルタイムで付与。
2022(令和4)年3月16日	福島県沖地震発生(M7.4)対応。
2022(令和4)年4月1日	協会の遠隔手話通訳事業がスタート。
2022(令和4)年5月1日	『ふくしまの手話』発行。
2022(令和4)年5月19日	障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が成立。同年5月25日より公布・施行。
2022(令和4)年7月1日	福島県聴覚障害者協会公式ラインを導入。